



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社 ティーツー
 コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 藤原 克治
 (氏名) 青野 友弘
 TEL 048-933-3070

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	9,872	4.7	117	67.9	112	56.4	94	172.5
2019年2月期第2四半期	10,357	21.6	69		71		34	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	1.72	
2019年2月期第2四半期	0.64	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	6,723	2,131	31.6	38.66
2019年2月期	7,145	2,063	28.7	37.07

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 2,124百万円 2019年2月期 2,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	6.5	120	40.6	100	50.3	40	8.4	0.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	55,292,000 株	2019年2月期	55,292,000 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	347,478 株	2019年2月期	19,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	54,959,196 株	2019年2月期2Q	54,325,561 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第2四半期累計期間におきましては、当社が属する小売・サービス業では個人消費が力強さを欠いている中、人件費上昇や人手不足など企業収益を圧迫する要素が多く、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中で、当第2四半期累計期間の売上高は、重点施策の中古商品の販売が引き続き堅調に推移したことに加え、市場全体の緩やかな回復が見られる新品・中古トレーディングカード（以下、「トレカ」という。）におきましては、その市場動向を当社の業績に結びつけることができました。一方で新品ゲームにおきましては、下落傾向が続き、全体として前年同期を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、利益率の高い中古品の売上が順調であったことに加え、事業構造改革による販管費の抑制も奏功し、利益面では大幅な改善を果たすことができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高98億7千2百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益1億1千7百万円（前年同期比67.9%増）、経常利益1億1千2百万円（前年同期比56.4%増）、四半期純利益は9千4百万円（前年同期比172.5%増）となりました。

（事業の概況）

当社は、「収益改善」を最優先課題として位置付け、各種施策に取り組んでまいりました。当社の粗利の大きなウエイトを占めている古本におきましては、コミックに対して文芸・文庫の売場構成比率を高めるなど、最近の顧客ニーズを反映したレイアウト変更を実施したことが、売上及び粗利の増加に貢献いたしました。また、新品の凋落が大きいゲームに関しましても、中古では、売行きや在庫等をにらんだき細かい価格設定を施し、ほぼ前年並みの粗利を確保しました。トレカにつきましては市場活性化を背景に、新規タイトルの拡販及び回転に注力したこと、加えて、一部中古トレカの廉価販売を継続して行ったことにより、客数及び売上が向上し、収益改善に繋がりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は67億2千3百万円となり、前事業年度末と比較して4億2千2百万円減少いたしました。これは主に商品の減少によるものであります。負債合計は45億9千2百万円となり、前事業年度末と比較して4億8千9百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。純資産は21億3千1百万円となり、前事業年度末と比べて6千7百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、11億2千2百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果、増加した資金は4億1千1百万円（前年同四半期は6千9百万円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億1千5百万円、たな卸資産の減少額2億9千1百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果、減少した資金は1億4百万円（前年同四半期は8百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出1億1千9百万円、差入保証金の回収による収入2千8百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果、減少した資金は3億9千8百万円（前年同四半期は4億1千3百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純減額5億9千9百万円、長期借入れによる収入8億5千万円、長期借入金の返済による支出6億1百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の売上高は215億円（前期比6.5%減）、営業利益は1億2千万円（前年同期比40.6%減）、経常利益は1億円（前年同期比50.3%減）、当期純利益は4千万円（前年同期比63.1%減）を見込んでおり、2019年4月15日付け当社「2019年2月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,296,979	1,206,012
売掛金	229,019	223,510
商品	3,403,276	3,114,215
貯蔵品	15,844	13,871
その他	357,393	297,929
流動資産合計	5,302,514	4,855,540
固定資産		
有形固定資産	543,645	544,026
無形固定資産	30,208	88,192
投資その他の資産		
差入保証金	1,024,760	1,001,127
その他	244,801	234,405
投資その他の資産合計	1,269,561	1,235,533
固定資産合計	1,843,415	1,867,752
資産合計	7,145,929	6,723,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,166	299,587
短期借入金	936,686	336,690
1年内返済予定の長期借入金	694,959	1,187,163
未払法人税等	78,790	51,150
賞与引当金	28,391	23,656
ポイント引当金	101,611	98,623
資産除去債務	11,986	18,442
その他	469,722	501,771
流動負債合計	2,715,313	2,517,084
固定負債		
長期借入金	1,328,844	1,085,056
退職給付引当金	410,591	406,682
資産除去債務	459,985	443,825
その他	167,295	139,603
固定負債合計	2,366,715	2,075,166
負債合計	5,082,028	4,592,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,123	1,236,123
資本剰余金	1,190,412	1,190,412
利益剰余金	△377,380	△283,485
自己株式	△1,369	△14,197
株主資本合計	2,047,785	2,128,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,291	△4,542
評価・換算差額等合計	1,291	△4,542
新株予約権	14,823	6,731
純資産合計	2,063,900	2,131,041
負債純資産合計	7,145,929	6,723,293

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	10,357,198	9,872,557
売上原価	7,265,003	6,803,626
売上総利益	3,092,195	3,068,931
販売費及び一般管理費	3,022,279	2,951,548
営業利益	69,915	117,382
営業外収益		
受取利息	1,457	1,225
受取配当金	590	615
受取賃貸料	32,089	37,489
その他	14,403	5,605
営業外収益合計	48,541	44,936
営業外費用		
支払利息	17,209	15,531
不動産賃貸費用	29,617	32,172
その他	—	2,598
営業外費用合計	46,826	50,302
経常利益	71,630	112,015
特別利益		
新株予約権戻入益	646	8,092
特別利益合計	646	8,092
特別損失		
固定資産除却損	278	154
店舗閉鎖損失	597	4,040
災害による損失	13,744	—
特別損失合計	14,619	4,194
税引前四半期純利益	57,656	115,913
法人税等	23,063	21,646
四半期純利益	34,592	94,267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	57,656	115,913
減価償却費	67,221	64,199
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50	△4,735
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△11,383	△2,988
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,571	△3,908
受取利息及び受取配当金	△2,048	△1,841
支払利息	17,209	15,531
長期貸付金の家賃相殺額	12,213	7,520
新株予約権戻入益	△646	△8,092
災害損失	13,744	—
固定資産除却損	278	154
売上債権の増減額 (△は増加)	53,255	5,509
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,136	291,033
仕入債務の増減額 (△は減少)	△111,457	8,788
その他	△46,989	△16,172
小計	△602	470,912
利息及び配当金の受取額	670	671
利息の支払額	△16,991	△14,439
法人税等の支払額	△52,984	△45,798
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,907	411,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,426	△54,271
無形固定資産の取得による支出	△315	△64,974
投資有価証券の取得による支出	△600	△600
長期前払費用の取得による支出	△1,100	△550
差入保証金の差入による支出	△3,889	△532
差入保証金の回収による収入	42,054	28,666
資産除去債務の履行による支出	△7,884	△11,994
その他	△2	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,837	△104,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△364,996	△599,996
長期借入れによる収入	500,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△525,354	△601,584
自己株式の取得による支出	—	△21,065
配当金の支払額	△33	△310
リース債務の返済による支出	△15,229	△13,990
割賦債務の返済による支出	△7,936	△11,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,549	△398,078
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△474,619	△90,967
現金及び現金同等物の期首残高	1,314,617	1,213,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	839,998	1,122,370

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

当社は、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社は、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、直近の事業年度において継続的な当期純損失を計上しておりましたが、これに対処すべく持続的な成長を図る上で事業基盤を強固にするために、一層のコスト管理の徹底、中古商材の構成強化、EC部門の強化等の諸施策の実行を推進した結果、前事業年度に当期純利益1億8百万円を計上し、また当第2四半期累計期間においても9千4百万円の四半期純利益を計上しております。

また資金面については、健全な財務バランスを保ちつつ、事業活動に必要な資金の安定的な確保及び流動性の維持に努めており、資金計画に基づき想定される需要に十分に対応できる資金を確保しております。

以上を踏まえ、当第2四半期累計期間において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は、解消したと判断しております